



【開館日】

水～土曜日 13時～21時  
日曜日 9時～17時  
月曜日 13時～17時

【休館日】

毎週火曜日、「国民の祝日」及び  
「年末年始（12月29日～1月3日まで）」



利用方法

障害者（個人・団体）は使用料無料です。それ以外の方もご利用いただけます。



※HPとは四日市市障害者体育センターのホームページのことです

当センターで  
できるスポーツ

卓球・卓球パレー・バレーボール・バスケットボール  
テニス・バドミントン・ボッチャ・フットサル  
アーチェリー・スポーツ吹矢・フライングディスク・体操

アクセス

電車でお越しの場合

四日市あすなろ鉄道  
「西日野駅」下車 約0.5km

バスでお越しの場合

三重交通バス  
「笹川中学校前」下車 約0.3km

※駐車場（約30台）あり  
自動車でもお越しいただけます



お問い合わせ先

〒510-0943 四日市市西日野町4070番地1

・TEL&FAX 059-322-1784

・ホームページ 右のQRコードをスマホ等で  
読み込むとアクセスできます！

・メールアドレス stc26@m2.cty-net.ne.jp



<https://www.stc-yokkaichi.com/>

センターの活動、障害者スポーツ・イベント情報などお届けします！

# 体育センター通信

6月号  
No.13



今月の特集は

SSAC(シューティングスターズアーチェリークラブ)です。

こんにちは。雨がが多い季節になりましたね。  
皆様、いかがお過ごしでしょうか。体調を崩されていない  
でしょうか？

今回の特集は、SSACです。

なお、今回は編集後記と題して、当館職員の通信を編集し  
ている感想も掲載してみました。気に入って頂けると幸いです。

ウクライナ支援募金について



当館では、3月から募金箱を設置しています。  
皆様のご協力により、5月に5,760円を在日ウク  
ライナ大使館へ寄付しました。引き続き募金を受け付け  
ておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

No.13



SSAC (シューティングスターズアーチェリークラブ)



●団体・施設紹介



1964年(注・一回目の東京オリンピックが開催された年)にSSACの前団体であるアンアローアーチェリークラブができました。

その後、2000年ぐらいにアンアローアーチェリークラブが無くなるのがきっかけで、SSACがアーチェリークラブを引き継ぎました。三重県唯一の障害当事者のアーチェリークラブなので、なくしたくなかった、という思いがありました。

●施設の活動

SSACは三重県のアーチェリー協会の大会と、1年に1回ぐらいの東海地区障害者アーチェリー大会に参加しています。

また、全国障害者スポーツ大会に毎年参加させて頂いています。

以前当センターの施設長だった方がSSACを創設しました。(会長は伊勢市在住の方でした。)

弓の種類

コンパウンドボウ



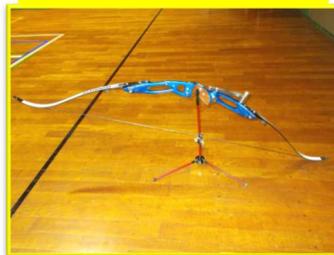
弦を一定以上引くと弦の重さが半分以下になるため力が無くても扱いやすい。欧米で主流。

リカーブボウ



アクセサリ(照準器、安定用器具)を取り付けた弓。日本で最も競技人口が多く五輪競技に採用されている。

ベアボウ



アクセサリのない、弓の原型に近いリカーブボウ。近年は採用する競技も増えつつある。

●最近のトピック



コロナ禍の為、大会がことごとく中止になり、最近は大会に参加できていません。



●インタビュー



1. SSACの活動の中で楽しかったこと、嬉しかったことは？

「全国障害者スポーツ大会でメダルを取ったことが一番嬉しかったです。三重県の選手はメダルをよく取る強い選手が多かったと思います。楽しかったことは練習の成果が実り自己新記録が出た時、モチベーションが高まった時です。」

2. これからの目標を教えてください。

「障害当事者のクラブ会員を増やし、障害者の大会に参加したいです。(若い20~30代の障害当事者のアーチェリーの選手が欲しいです。)三重県には障害者の大会が無いので、東海地区の遠征で入賞したいです。」

3. 当館へ希望することなどを教えてください。

「障害者のアーチェリークラブに理解して頂いたり、防矢ネット常設の的を設置して頂いたり、有難く思っています。施設長、職員さん、今後ともよろしくお願いいたします。」

SSAC様、ありがとうございました。



編集後記



今回取材させて頂いたSSACの古市様には以前から高橋はお世話になっております。穏やかで親しみやすい方です。ありがとうございました。(高橋)

弓の種類が様々あることを初めて知りました。競技の体験会があれば参加してみたいと思います。(長谷川)